



**今回は、日本の次世代リーダー養成塾について報告します。**

## ◇ 日本の次世代リーダー養成塾とは

日本の次世代リーダー養成塾とは、経済界や地方自治体を中心となって、全国の志ある高校生を対象に、日本だけでなく世界を舞台に挑戦する人財の育成を目指した 2 週間のサマースクールです。目標とする力は、

- 1 問題発見能力、多面的な思考力、分析力、決断力を養う
- 2 日本人としての知識を集積する
- 3 自分の考えを持ち、相手に信頼されるバランス感覚を磨く
- 4 国際的に通用するコミュニケーション能力を身につける

以上の 4 点。本校 SGH 事業のめざす方向性とも一致します。今年度は本校 1 年生 1 名が岐阜県推薦枠塾生（定員 10 名）に応募し、書類・面接による審査を経て参加しました。

## ◇ 報告「日本の次世代リーダー養成塾に参加して」 1 年 兼松宜弘

2016 年 7 月 24 日（日）から 8 月 6 日（日）までの 2 週間、福岡県のグローバルアリーナ、佐賀県の波戸岬少年自然の家で行われた日本の次世代リーダー養成塾に、私は参加しました。日本の次世代リーダー養成塾とは、日本や世界を代表する様々な分野で活躍する、一流の講師の講義などのとても濃いプログラムを通して、学問の楽しさや人としての生き方を学んだり、相手の話をじっくり聴く能力や相手を思いやる精神を養ったりするためのサマースクールです。

この塾には、全国そしてアジアから約 200 人の高校生が集まります。私は、同世代の人たちと 2 週間ともに過ごすことで、たくさんの考え方を知り多面的な考え方ができるようになりたい、また、ディスカッションなどを通して論理的思考能力を身に付けたいと思い、この塾に参加しました。塾を通して私達がしたことは主に次の 4 つです。

<講義>

私達は、教養系、ビジネス系、国際系、人間学の各界を代表する 28 名の方々の講義を聴きました。私にとって最も印象に残ったのは、中村ブレイス株式会社社長の中村俊郎さんの講義です。中村さんは、体の不自由な方のために義足をつくっています。足を失ったフィリピンの子どものために、竹で義足を製作するプロジェクトについて聴いたときはとても感動しました。「歩けるだけでいいんだ」と泣いていた彼のために、仲間の社員



に反対されながらも、フィリピンの伝統文化である竹細工を用いて義足をつくりあげた中村さんの行動に共感しました。

私には、「世界銀行に就職して、貧困層の方たちを救いたい」という夢があります。私は、この講義を聴いて自分の夢に誇りを持つようになりました。「他の人のために働く」ということのすばらしさや大切さを改めて感じる事ができたからです。これからも思いやりの気持ちを忘れず

生きていこうと思いました。

#### <アジア・ハイスクール・サミット>

アジア・ハイスクール・サミットとは、将来の日本がどうあるべきか、世界の情勢を考えながら、①教育、②医療、③産業、④情報、⑤食、⑥異文化・外国人、⑦環境の7つのテーマごとに分科会で議論をするプロジェクトです。約14人のチームごとに集まって、解決したいと思う「課題」を決定し、その課題の「解決策」を2週間かけてチームで練り上げます。私は医療のチームで、心の病であるうつ病をなくすにはどうすればよいのか話し合いました。

同じチームの仲間が一人ひとり自分の意見を主張して、議論がうまくいかなかったり、一生懸命考えた「解決案」が、何度も白紙に戻ったりしました。私たちのチームは、発表の当日の直前にやっと「解決案」がまとまりました。発表が終わったとき、私は自然と涙が出てきました。自分がもうこれ以上できないぐらい本当に考えたんだな、と実感しました。この経験を通して、話し合いのゴールをちゃんと明確にすることの大切さや、仲間と本気で議論しあう愉しさを知ることができました。

#### <フィールドトリップ>

私達は、7月27日から29日まで佐賀県に行き、約400年の歴史がある有田焼などの焼き物について学んだり、佐賀県立名護屋城博物館を訪れ、日本列島と朝鮮半島の長い歴史をたどったりしました。さらに、有田焼の絵付け体験をし、世界にひとつだけの有田焼をつくりました。私は、今まで焼き物に興味がなく、あまり知りませんでした。しかし、伝統ある窯元を見学したり、陶工の方の熱い思いがこもった講義を聴いたりして、焼き物の美しさを知り好きになりました。佐賀県立名護屋城博物館では、日本の過去を知って自分たちを客観的に見るのが大事ということを学びました。

#### <リーダー塾で得たこと、出会った方々>

地元九州の企業、フンドーキン醤油株式会社の協賛の一環として、「宗像市の食材を使ったみそ汁コンテスト」を行いました。約30人のクラスごとに食材、出汁、みそを選び、30分で30人前をつくるというとてもハードな味噌汁づくりでしたが、クラスが一丸となることができました。

私はこの塾に参加して、本当にかげがえのない仲間や人生の先輩に出会うことができ、自分をひと回りもふた回りも成長させることができたと感じています。

2週間寝食をともにした仲間は、何についても意見を交し合うことができ、一緒にいると互いに高め合うことができます。また、クラスの担任や学生リーダーの方は、これから生きていくうえで重要なことを教えてくださったり、相談に乗ってくださったりしていただきました。私も彼らのような大人になりたいと強く感じました。

あっという間に過ぎてしまった2週間でしたが、こんなにも別れたくないと思う人に出会えたのは初めてでした。

次に会うときはもっともっと成長した自分になっていられるよう、これからも努力を続けていきます。

